

# 平成28年度第2回「埴町地域公共交通活性化協議会」議事録

日時 平成29年3月22日（木）午後2時00分

場所 埴町農村勤労福祉会館 2階 小研修室

出席委員：14名（別紙のとおり）

（進行：遠藤係長）

1. 開会（婦人会芳賀委員）
2. 会長あいさつ（木村会長職務代理者）
3. 議事

木村会長直無代理者が議長となり議事進行。

## 報告事項

### （1）報告第1号 平成28年度市町村生活交通バス運行実績について

- ・事務局より資料に沿って説明（鈴木主査）

#### <質疑応答>

（婦人会芳賀委員）

- ・前年度より那倉方面の利用者数が増えているが何かあったのか？

（磯貝委員）

- ・小学生の数が増えたため、利用人数が増えたためトータルの利用者数が増えている。

（荒川委員）

- ・経常費用が昨年と比べると200万円以上増えているが、何か費用が増える要因があったのか？

（磯貝委員）

- ・費用が増えた要因の一つは、人件費がアップしたことによるもの。加えて近年の運転手不足のためバス運転手の募集要件を緩和し普通免許で採用し大型2種免許を取得させる費用を会社で負担しているため、経常費用が増えている。

（荒川委員）

- ・小型バスにした場合は、費用が変わるのか？

（磯貝委員）

- ・小型バスにしても、費用の主な内訳は人件費がほとんどなので、そんなに変わらない。

（福島交通原委員）

- ・小型バスは3台ある。子供達数は少ないが、なるべく座らせて輸送したいので、大型のバスを採用している部分がある。山道の上下りを考慮して小型の導入を検討してもいいのかもしれない。

【承認】

## (2) 報告第2号 タクシー助成事業グループ検討会について

- ・事務局より資料に沿って説明（鈴木主査）

<質疑応答>

（ファミリー鈴木委員）

- ・次年度の方針とし、タクシー料金助成の実証運行は行わないということか？

（事務局）

・国からの補助額が減ったことで、実証運行を減らし網形成計画の策定をすることになったため、次年度は実証運行を実施しないが、今年度検討してきた内容を基に平成30年度にはタクシー料金助成の実証運行を実施したいと考えている。

【承認】

### 議案事項

#### (1) 議案第1号 平成28年度事業計画変更について

- ・事務局より資料に沿って説明（鈴木主査）<質疑なし・承認>

#### (2) 議案第2号 平成28年予算変更について

- ・事務局より資料に沿って説明（鈴木主査）<質疑なし・承認>

#### (3) 議案第3号 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業（計画策定事業）交付申請）について

- ・事務局より資料に沿って説明（鈴木主査）

<質疑応答>

（荒川委員）

- ・県の補助はないのか？

（事務局）

・網形成計画については県の補助はないが、バスの運行についての県の補助がある。

（荒川委員）

・公共交通について対応が遅れている状況がある。県にも前向きな取組をしてほしい。町は県へ、県は国へ強く要望していくことをしてほしい。埜町単独ではなく、近隣町村一緒になって取組んでいかななくてはならないと思う。国に声をあげていかなければ、なかなか対応も難しいと思う。

（ファミリー鈴木委員）

- ・棚倉・矢祭・埜、それぞれ同じことを議論している。集まって、一緒に議論していくことが大切だと思う。

（振興局鈴木委員）

- ・補助金はないが、協議の中に入り助言をしていく。

（荒川委員）

- ・大きな問題であるので、県にももっとかかわっていただきたい。

(吉岡統括)

・県は県内の協議会について把握しているが、協議は市町村ごと組織的に集まってやっている。補助金については、運行に関するものは県・国、調査については国が補助金を出している。今回の補助金は公共交通の調査事業についての補助金の申請である。

(商工会芳賀委員)

・町の補助金でやるのか？

(事務局)

・国の補助金で足りない部分は、町へ補助金を申請する。

(吉岡統括)

・バスの再編等について検討するために、路線ごとの実際何人乗っているのかの利用実態調査を実施してほしい。福島交通のODデータを貰うことはできるか？

(磯貝委員)

・ODデータは、会社の財産であるので基本的に出せないが、要望があれば必要なデータに絞って提供できる。

(吉岡統括)

・町として出してもらえるように、正式に依頼してはどうか？

(事務局)

・町としても、バスを中心として町の公共交通の再編を行うためにも必要になる情報だとおうので、情報提供を依頼したいと思う。

【具体的な路線等の場所を指定しデータを依頼すること】

【承認】

#### 4. その他

【バス・水郡線・タクシーなどについて】

(婦人会芳賀委員)

・バスに乗りたくても、バス停まで歩いて30分、タクシーで病院まで行くと5,000円かかるという話を聞いた。

(木村副会長)

・病院も受診科や先生によって曜日が違うため、乗り合せで行くというのも難しい。

(荒川委員)

・役場近くに主要な施設が集まっているので、中心にいかにも集められるかを考えて行かなければならない。バス停の場所についても工夫して、もう一本集落の中まで入っていただきたい。もっと、公共交通についてPRしていくことが必要だ。

(福島交通原委員)

・バス停については、フリー区間を設けている路線もあるので、利用者の声が届けば工夫することもできると思う

#### 5. 閉会（埴タクシー鈴木委員）（閉会）